

令和〇年〇月〇日

代表取締役

山田太郎様

営業部 佐藤一郎 ㊞

## 始末書

私は、令和〇年〇月〇日〇時頃、接客の未熟さによりお客様に大変不愉快な思いをおかけしてしまいました。

当社は業務の多忙さを理由に、お客様からのお問い合わせに対して約十五分お待たせしたまま放置してしまい、その後応対しようとした際には、すでにお客様はお帰りになられておりました。結果としてお客様は大変お怒りとなり、当社のお客様センターへクレームのお電話をいただく事態に至りました。

本件は、私の判断の甘さと接客能力の不足が招いた不始末であり、深く反省しております。この度のことで大切なお客様の信頼を損ない、会社にも多大なご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

今後は、このようなことを二度と繰り返すことのないよう、細心の注意を払い誠意をもって接客に臨む所存でございます。

以上